



田名部まちなか地区事業報告書

令和4年12月
田名部まちなか再生協議会

代官山公園改修事業（田名部まちなか地区都市再生整備計画）

● 事業概要

- ① 県道むつ恐山公園大畑線からのアクセス園路を新設
- ② Park-PFIの実施に伴い、上・下水道、電気設備等を整備
- ③ 既存の公衆トイレを倉庫へ改修
- ④ 公園周辺に案内サインを設置
- ⑤ 駐車場の簡易舗装、園路バリアフリー化
- ⑥ 商工会議所側出入口への照明灯設置

● 事業スケジュール

- | | | |
|-------|-----|---------------|
| 令和3年 | 9月 | 埋蔵文化財の発掘調査を終了 |
| 令和3年 | 11月 | 上記②、③の工事完成 |
| 令和4年 | 3月 | 上記①、④の工事完成 |
| 令和5年度 | | 上記⑤、⑥の工事予定 |



● 当初は令和3年度での事業完了を予定していましたが、公園利用者やPark-PFI事業者からの要望等を踏まえ、令和5年度に駐車場の簡易舗装、園路のバリアフリー化、園路への照明灯設置を行うこととして、国土交通省と都市再生整備計画の変更協議中です。

歩行空間整備事業（田名部まちなか地区都市再生整備計画）

● 事業概要

田名部駅通り商店街と田名部神社や飲食店街をつなぐ歩行空間として、旧下北交通バスターミナルから田名部神社裏までの間で、市有地（河川敷地）と民有地（旧バスターミナル敷地等）を一体として整備し、まちの回遊性の向上を図るものです。

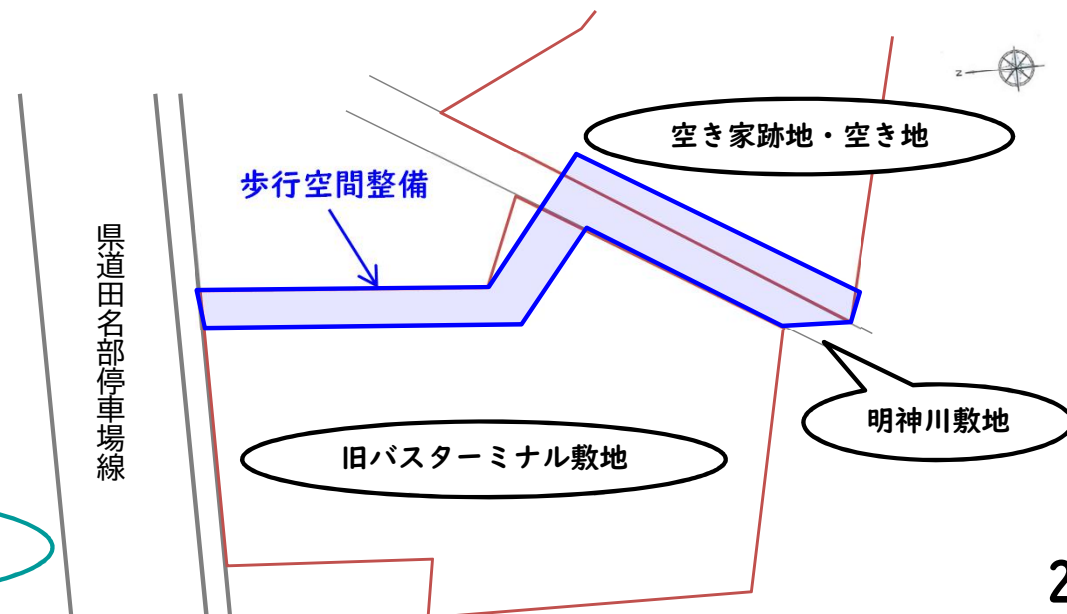
都市再生整備計画への事業追加が認められ、12月から現場での工事に着手しています。

● 事業スケジュール

令和4年 8月 歩行空間設計業務完了

令和4年11月～令和5年3月 工事（河川部分での歩行空間整備）

令和5年度 工事（旧バスターミナル敷地等での歩行空間整備）



代官山公園官民連携型賑わい拠点創出事業（Park-PFI）

● 事業者

(株)むつ不動産取引センター

● 事業概要

公募によるPark-PFI事業者からの提案により、公園施設（屋外トイレ）と民間施設（宿泊・飲食・ドッグラン等）を整備し、令和4年4月にグランドオープンを迎え、多くの市民や観光客などに利用されており、**田名部地区の飲食店等への波及効果**も生まれています。

● 施設整備状況



屋外トイレ



宿泊トレーラーハウス



グランピングテント



飲食トレーラーハウス



キャンプサイト



夜間の雰囲気

橋梁長寿命化修繕事業（大橋架替事業）

● 事業期間

令和2年度～令和4年度

● 事業概要

橋梁点検結果に基づき、老朽化が著しい「大橋」の架替工事を進め、令和4年12月4日に開通を迎えました。今年度中に仮歩道橋の撤去等を行い、事業完了となる予定です。

通常は白色の照明により明るいまちを演出していますが、ピンクリボン運動などの社会運動への支援・賛同を示すシンボルカラー（アウェアネスカラー）へのライトアップが可能となっています。



アウェアネスカラーライトアップの一例



新たな夜間景観を創出

(仮称) 田名部まちなか団地整備事業

● 事業概要

田名部駅線路跡地において、民間資金を活用して施設整備、15年間の維持管理、入居者移転支援等を行う、当市初のPFI方式により市内に分散・老朽化している市営住宅の集約建替を進めています。

● 建物概要

鉄骨造4階建て

2棟60戸、約100人の入居を予定

● 事業スケジュール

令和3年度

基本設計・実施設計

令和4年度

本体工事

令和5年度

本体工事

令和5年8月末

工事完成

令和5年9月～

入居者移転

イメージパース



民間事業（旧下北交通バスターミナル周辺）

● 事業主体

都市再生推進法人むつまちづくり株式会社
社会福祉法人桜木会

● 事業内容

老朽化が進む下北交通バスターミナルについて、むつまちづくり（株）が取得・解体後、郊外から社会福祉施設を移転する計画としています。

社会福祉施設の移転とともに、デイサービス施設、地域包括支援センターのほか、誰もが利用できるバス待合所などを整備する計画となっています。

建物前面に整備予定としていた広場については、面積の確保が困難となり、本資料2ページの歩行空間と一体となった広場を整備することとして計画を変更しました。

● 事業スケジュール

令和4年度 土地・建物取得・解体

令和5年度 工事完成、供用開始（予定）

むつまちづくり株式会社では、**旧吉田メリヤスの利活用**についての検討を進めています。

ご意見やアイデアがありましたら、市都市計画課までお知らせください。

